

このシートは、交差点事故防止を中心に、その他の事故防止も含めて安全の取り組みを検討できるシートです。
このシートを活用する上でわからないことがある場合には、国土交通省・「トラック追突事故防止マニュアル」の該当ページのみ参照してください。
その場合、「追突事故」を交差点事故と読み替えてください。

トラック事業者にとって追突事故・交差点事故は多発・重大事故で最重要課題

トラック追突事故
防止マニュアル
参照ページ

自社で起こっていなくても、多発事故リスクはしっかり対策しよう！

前提

<当社の社風>

P.9

質問①
〈現状の把握〉

どのような取り組みをしてきた？

P.9

事故の発生状況は？

P.9

良かった点・反省点は？

P.9

事故件数以外にも
目標を設定しよう！

質問②
〈リスク評価指標の策定・目標の設定〉

安全や危険の目標は？

P.11

どういときに会社全体の
安全意識が高い/低いと感じる？

P.10

指標①	
目標	
指標②	
目標	

必ず、交差点事故防止に
向けた目標を1つは設定しよう！

質問③
〈取り組みの検討・優先順位付け〉

今後、何をしたい？ 今後、何をやる？

目標に関する取組としよう！

P.12-13

まず、3つだけ考えよう！

経営トップが判断して
何をやるか決めよう！

質問④
〈実施結果の記録〉

実際に実施できた？

P.14

期間を決めて、
途中でも振り返り、
場合によっては計画
を変更しよう！

質問⑤
〈効果検証〉

結果は？

P.14

事故は減った？安全になった？

P.14

指標①	
指標②	

次のページに、記入例があります。

このシートは、交差点事故防止を中心に、その他の事故防止も含めて安全の取り組みを検討できるシートです。
このシートを活用する上でわからないことがある場合には、国土交通省・「トラック追突事故防止マニュアル」の該当ページのみ参照してください。
その場合、「追突事故」を交差点事故と読み替えてください。

トラック事業者にとって追突事故・交差点事故は多発・重大事故で最重要課題

トラック追突事故
防止マニュアル
参照ページ

自社で起こってなくても、多発事故リスクはしっかり対策しよう！

前提

<当社の社風>

- 例1 当社社員は、義理人情に厚く、仲間意識が強い
- 例2 当社のドライバーは、現場のリーダーである班長に対する信頼が厚い
- 例3 当社は、ドライバーの独立心が強く、ドライバー同士のコミュニケーションはそれほど活発ではない

P.9

質問①

どのような取り組みをしてきた？

P.9

- 朝礼での安全5カ条唱和
- 運転台の整理・整頓とチェック
- 年1回の安全運転講習会の実施

事故件数以外にも
目標を設定しよう！

事故の発生状況は？

P.9

- 交差点での
接触事故 1件
・追突事故 1件

良かった点・反省点は？

P.9

【良かった点】

- 唱和により、事故件数が減ったように感じる。
- 整理・整頓が定着し始め、身だしなみまで良くなったように思う。

【反省点】

- 整理・整頓が徹底できていない場合がある。
- 安全運転講習会がマンネリ化している。

質問②

安全や危険の目標は？

P.11

指標①	●整理・整頓の実施
目標	●実施率90%
指標②	●燃費効率
目標	●エコドライブの推進による前年比3%改善

どういときに会社全体の安全意識が高い/低いと感じる？

P.10

- 運転台が乱雑になっているとき
- ヒヤリハットの報告件数が多くなったとき
- 燃費が悪くなってきたとき

必ず、交差点事故防止に向けた目標を1つは設定しよう！

質問③

今後、何をしたい？今後、何をやる？

目標に関する取組としよう！

P.12-13

<例1>

- 助手席・ダッシュボードにおいてある荷物や小物類は片付けるよう指導する。また、月に1回、管理職が実施状況を抜き打ちでチェックする。
- 燃費を行動目標にし、効率化のために常に前方の信号を注意するよう指導する。

<例2>

- 燃費改善率により、表彰する仕組みを作る。
- 安全運転講習会の内容を工夫するとともに、開催回数を増やす。
- 現場管理者とドライバーのミーティングを週に1回設け、事故防止のための場とする。

まず、3つだけ考えよう！

経営トップが判断して何をやるか決めよう！

質問④

実際に実施できた？

P.14

- 管理者による抜き打ちチェック結果を、ドライバーとのミーティングで共有した。
- エコドライブの実施状況(燃費)を行動目標に設定し、月ごとに実績を貼り出した。

期間を決めて、途中でも振り返り、場合によっては計画を変更しよう！

質問⑤

結果は？

P.14

指標①	●整理・整頓の管理者チェックで、3割のケースで改善が必要だった。
指標②	●燃費効率前年比2.5%改善

事故は減った？安全になった？

P.14

- 事故件数 追突1件、その他1件。事故件数そのものは、すぐに変化しなかったが、ベテランドライバーが若手ドライバーへ運転台の整理・整頓の大切さを、また、ドライバー同士がどうしたら燃費を良くするかを話し合うようになった。この雰囲気を保ち続けたい。